

建設業経理士25回（財務分析）過去問ゼミ

令和2年9月7日

①過去問ゼミの学習方法

既に24回までの過去問ゼミ確認済んでいる方

→25回のみ確認

今回新たに過去問を実施する方

→10回～19回までの過去問ゼミ（網羅型）確認

24回以降は、個別型です

②過去問題集について

TAC（1,800円）、ネットスクール（2,000円：簡易テキスト付）のいずれかを用意した方がよいと思います。

建設業経理士のサイトでも無料で問題はダウンロードできますので、解き方のみ当社の講座で確認するのであれば（当社の講座は解答は講座内で説明しており、解答として作成はしていません）特に必要はありません。TACの最新号では16～25回の問題集なので、15回以前は建設業経理士のサイトからダウンロードして下さい。

③予想論点

過去問の傾向と予想を用意しております。参考にしてください。

④記述問題

模範解答は、簿記上級者・公認会計士合格者などが複数人で3時間以上かけて作成しています。本試験では、「主語＋述語＋さらに（例えば・具体的には）」作戦でいきましょう。

<感想>

私は、年に2回過去問ゼミ作成時のみしかしないので満点はとれません。今回は

1問	2問	3問	4問	5問	合計
10/20	15/15	16/20	15/15	28/30	84/100

立替比率は試験前にゴロ合わせなどで覚える必要があります。

第1問は今回はかなり厳しい感じでした。その分他の設問は取りやすい内容だったので、1問に惑わされずに、冷静に対処する必要がありました。しっかり得点が必要な回でした。

<第1問>

建設業における企業経営の総合指標には「経営事項審査」がある。これに関する以下の問に答えなさい。

<問1>審査項目の経営規模（X2）の具体的な審査内容に挙げられている利益について説明しなさい

審査項目の経営規模（X2）の具体的な審査内容に挙げられている利益は、当期の利益である。営業利益・事業利益・経常利益・税引き前利益・当期純利益等があるが、経営規模にふさわしい利益が審査される。

「結構わかってるんだけど」アピール作戦

<問2>審査項目の経営状況（Y）の具体的な指標を3つあげて、それぞれ説明しなさい
審査項目の経営状況（Y）の具体的な指標は

- ①資本利益率→資本（投資）に対する利益をあらわす指標。数値が高いほど収益性が高いことを示す。
- ②自己資本比率→総資本に占める、返済不要な自己資本の比率をあらわし、数値が大きいほど財務健全性が高いことを示す。
- ③安全性の指標を選んで書くのがベター（私なら流動比率あたりでしょうか）

これくらい書ければ**10点は確保**できるでしょう

記述式試験において空白が多いよりも、ある程度書けると安心感が生じ、残りの問題に前向きになれます。

建設業経理士試験は発表まで時間があります。各社の解答速報などを見ると、「少しでも書いておけば良かった」となります。ぜひあきらめずに加点目指して頑張ってください

<第2問>

15点(満点)確保

日商簿記2級のCVP分析の知識で解答可能です。

絶対に満点を取りたいところです。

<第3問>

できれば16点 悪くても12点

第三問は慣れです。過去問を回転すれば確実に16/20くらいは取れるようになります。

一応私が解いた手順を記します

①固定比率から→ $70,000 \times 96.5 = 67,550$ (固定資産合計)

$67,550 + \text{流動資産計 } 132,450 = 200,000$ (資産計、負債資本計)

$200,000 - 70,000 = 130,000$ (負債合計)

②経営資本営業利益率→ $11,142 \div \text{経営資本} = 6\%$ ∴経営資本=185,700

建設仮勘定→ $200,000 - (\text{建仮} + \text{投資 } 13,500) = 185,700$

建設仮勘定=800

③総資本回転率→ $\text{完成工事高} \div 200,000 = 1.2$ ∴完成工事高 240,000

④借入金依存度→ $(17,000 + 11,000 + \text{社債}) \div 200,000 = 26\%$ ∴社債=24,000

固定負債計 35,000円 ∴流動負債= $130,000 - 35,000 = 95,000$

⑤流動比率 $(132,450 - 54,640 = 77,810) / \text{流動負債 (未成控除)} = 155\%$

∴流動負債 (未成控除) = 50,200

未成工事受入金=流動負債計 95,000 - 50,200 = 44,800

⑥受取勘定滞留月数→ $(22,000 + \text{売掛金}) \div (240,000 \div 12 = 20,000) = 2.3$ 月

∴ **完成工事未収入金=24,000**

⑦純支払利息比率 = $(\text{支払利息} - \text{受取利息配当金}) \div 240,000 = 1\%$

∴ $(\text{支払利息} - \text{受取利息配当金}) = 2,400$

営業利益 11,142 + (受取利息 + D) - (支払利息 + 1,801) = 7,200

∴完成工事高経常利益率 = 3%

$11,142 + (\text{受取利息} - \text{支払利息}) + (D - 1,801) = 7,200$

支払利息 - 受取利息 = $2,400 = 11,142 + D - 1,801 - 7,200$

∴ D = 259

支払勘定回転率 = $240,000 \div (\text{工事未払金 } 18,600 + \text{支払手形 } 11,000) = 8.108 \rightarrow 8.11$

※支払手形 = $95,000 - (18,600 + 17,000 + 3,600 + 44,800) = 11,000$

<第4問>

ここは確実に。できれば満点15点 悪くても11点

解説は不要ですね。頻出論点なので、再確認しておいてください。

<第5問>

ここも、ほぼ毎回同じ関係ですね。

第2問と第3問と第4問をしっかりと復習すれば第5問を解けるはずです。

期中平均を忘れないようにしてください。

特に注意は、

①流動資産・当座資産から貸倒引当金は控除する（指示あれば指示通り）

②未成工事収支比率・立替工事比率は試験直前の暗記が有効（イメージは持つべき）

未成工事収支比率

→未成工事の勘定を使用する→未成工事受入金／未成工事支出金×100

立替工事比率

→未成工事収支比率（現在進行中の工事の立替状況）＋完成分の立替状況

★分子

完成済で未入金（受取手形＋完成工事未収入金）

現在進行中の立替状況（未成工事支出金－未成工事受入金）

★分母

完成工事高（完分）

未成工事支出金（未成分原価）

③分母・分子ともに期中平均値を使うもの（直前に覚える）

資本集約度＝総資本／総職員数

総資本で分解

労働生産性（付加価値/総職員数）＝資本集約度×総資本投資効率（付加価値/総資本）

労働装備率＝有形固定資産（除建仮）／総職員数

有形固定資産で分解

労働生産性＝労働装備率×設備投資効率（付加価値/有形固定資産）

※ともに分解式の要素だから

何とか語呂合わせ（老荘の詩集は平均です）

悪くても 24 点は欲しい

	悪い場合	良い場合
1 問	6	10
2 問	11	15
3 問	12	16
4 問	11	15
5 問	24	28
合計	64	84

25 回は合格率 26.6%と直近 2 回と同程度です。今後は分析に関しては 2 問～ 5 問の 80 点で 70 点取るつもりでの学習が必要です。

弥生カレッジCMC